


課題

1 mの重さが2.14 k gの鉄のぼうがあります。この鉄のぼうの3.8 mの重さは何 k gですか。

整数と整数の筆算の仕方と同じかな
 小数×小数の計算の仕方を考えましょう

2.14 × 3.8 の計算の仕方を考えよう



0 2.14 (k g)

0 1 2 3 3.8 (m)

既習事項

① 整数×小数の計算の方法から考えてみよう

② 小数×整数の計算の方法から考えてみよう

③ 整数×整数の計算の方法から考えてみよう

自力解決

1 mで2.14 k gの鉄のぼうの3.8 m分の重さを求めるので、式は2.14 × 3.8というかけ算の式になる。
 214 × 3.8 = 813.2 となる計算はわかるけど・・・

② 2.14 × 38 ならわかるけど

214	
× 38	
1712	
642	
8132	

小数点はどこにつけたらいいのかな

③ 2.14 × 3.8 を 214 × 38 にするためには1000倍するのはわかるけど・・・

計算はわかったんだけど、小数点はどこにうとう？

指導上の留意点

- 式を2×3, 3×4等と見て、積がどの範囲になるかを確認させる。
- 小数点をつける位置で悩むことが予想される。小数点をどこにつければよいかという観点で考えさせる。

集団思考

1 自分で考えた計算方法を発表する。

小数×小数の筆算の仕方を、今まで習った整数×整数の筆算の方法をもとにして考えて発表しましょう。

2 小数×小数の筆算の方法について話し合う。


① 214 × 3.8 の積は 214 × 38 = 8132
 8132 ÷ 10 = 813.2 となります
 2.14 は 214 の 100 分の 1 だから 813.2 を 100 でわれば答えが出ます
 813.2 ÷ 100 = 8.132
 だから右から3つめにうてばいいので答えは 8.132kg です

② 1000倍して計算をしたので、8132を1000で割れば答えが出る
 8132 ÷ 1000 = 8.132
 右から3つめにうてばいいので答えは 8.132kg です

③ 2.14 × 100 = 214
 3.8 × 10 = 38
 整数で計算をするために1000倍したので1000でわります。だから右から3つめに点をうてばいいので答えは 8.132kg です

3 共通点について話し合う。

計算の考え方で同じところはどこでしょうか。



- 既習の内容である整数×整数、小数×整数の計算をもとに考えられることを確認させる。
- 小数点の移動の仕方を、整数×整数に直しての計算をもとにして考えさせる。



整数×整数の筆算をもとにして計算をしています。
そしてかけた数だけ最後になっています。

小数×小数の筆算は、整数×整数の筆算をした後、
小数点はどこにつけたらいいのでしょうか。



整数×整数の筆算だと 1000 倍して計算をしますが
その場合は 1000 でわります。1000 でわるということは
小数点は右から 3 つめにうちます。



×	2.14	1000 でわると
	3.8	いうことは
	1712	小数点は右か
	642	ら 3 つめにう
	8.132	てばいいです

● 小数×小数での積の小数点の位置について、乗法の計算の性質に関連づけて考えさせる。

4 小数×小数の筆算の方法をまとめる。

- ① 小数点がないものとして計算する。
- ② 積の小数点は、かけられる数とかける数の小数点の右にあるけたの数の和だけ、右から数えてうつ。



まとめ

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)